

## 5. 診 療

### 1) 病院概況

- (1) 本 院 (院 長：丸毛啓史  
副 院 長：谷 諭、井田博幸、浅野晃司・小島博己・安保雅博・小澤かおり  
事務部長：横山秀彦)

(1) 患者数

- ①外来1日平均患者数：2,744名（対前年度比－3名）
- ②入院1日平均患者数：877名（対前年度比＋11名）

(2) 病床利用状況

病床利用率は稼働床1,050床に対して83.5%（昨年比＋1.0P）、平均在院日数は、12.7日（昨年比＋0.3日）であった。

(3) 紹介率・逆紹介率

紹介率は年間平均で医療法71.9%（昨年比＋0.1P）、保険法72.1%（昨年比＋0.2P）であった。  
逆紹介率は医療法50.3%（昨年比－1.2P）、保険法51.0%（昨年比－1.2P）であった。

(4) 保険関係承認・届出関係

- ① 腫瘍凝固・焼灼術（冷凍凝固によるもの）（平成29年5月1日）※新規
  - ② 看護職員夜間配置加算12対1（平成29年5月1日）※新規
  - ③ 病棟薬剤業務実施加算1（平成29年10月1日）※新規
  - ④ 病棟薬剤業務実施加算2（平成29年10月1日）※新規
  - ⑤ 特定機能病院入院基本料7対1（平成29年11月1日）※変更
  - ⑥ 急性期看護補助体制加算50対1（平成29年11月1日）※変更
  - ⑦ 看護職員夜間配置加算12対1（平成29年11月1日）※変更
  - ⑧ 療養環境加算（平成29年11月1日）※変更
  - ⑨ 新生児治療回復室入院医療管理料（平成29年11月1日）※変更
  - ⑩ 小児入院医療管理料2（平成29年11月1日）※変更
- ※⑤～⑩については1A病棟減少及び小児病棟増床に伴う入院基本料の変更届出
- ⑪ 硬膜外自家血注入（平成29年11月1日）※新規
  - ⑫ 仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術（平成29年11月1日）※新規
  - ⑬ 内視鏡下筋層切開術（平成29年11月1日）※新規
  - ⑭ 看護職員夜間配置加算16対1（平成30年3月1日）※新規

(5) 先進医療

- 新規申請・承認（申請2件、承認0件）
- ・腔鏡下広汎子宮全摘術（産婦人科）（症例確保）
  - ・MRI撮影及び超音波検査融合画像に基づく前立腺針生検法（泌尿器科）（症例確保）

(6) 臨床研究・保険適用外診療

- ・承認件数：新規申請164件、変更申請（期間延長など）132件

(7) 指導・監査

- ① 医療法第25条第1項による立入検査（東京都）（平成29年11月1日）
- ② 医療法第25条第3項による特定機能病院立入検査（関東信越厚生局）（平成29年11月1日）
- ③ 精神病院等実地指導（東京都）（平成29年11月1日）

(8) 医療安全

- ① 職員個人の安全確保に対する意識向上への取り組み  
安全確保にはチームよりまえに個人の意識を高め基本的な安全推進活動を習慣化させることが重要と考え、各種委員会、研修会、部署別研修会などにおいて、チェックバック、名前の確認、ハンドオフ、指さし声だし確認などの基本的安全確認行為の実演を必須と

し、習慣化につなげる取り組みを行った。

② 診療情報の共有強化に向けた取り組み

- ・診療情報の非共有による事故を防ぐため、画像診断報告書や病理診断報告書の患者への原則公布を普及すると共に、人的支援、システムの改修や医療安全推進室からの直接・間接連絡により共有させる仕組みを構築した。
- ・患者が救急入院や転科など、患者情報の共有が十分に行われない可能性がある場合、共通の情報ツールである「ハンドオフシート」を活用して医師間、医師－看護師間の情報共有を2018年1月9日より、導入を開始した。3月末までの活用率は約70.3%であった。

③ TeamSTEPPSの活用に向けた取り組み

TeamSTEPPSエッセンシャルコースを年間5回（年間参加者282名）開催し、概念の浸透を強化するとともに、TeamSTEPPSアドバンストコースを年間8回（年間参加者284名）開催し、実践への連結強化をはかった。

④ 安全文化の醸成を目指した研修会開催

職員対象のセーフティマネジメント基礎研修会を年間12回、4病院合同セーフティマネジメントシンポジウムを年間3回行い、医療安全に関する総合的な知識の普及をはかった。また、職種や経験別に、管理者のための医療安全・感染対策研修会、初期臨床研修医対象研修会、レジデント対象研修会、新規採用教職員・転入職員対象研修会、派遣・委託職員対象研修会などを行った。

⑤ セーフティマネージャーを主体とした活動

医療安全推進活動の主体をセーフティマネージャー（SM）と位置づけ、SMが主体となり、院内全部署を一年間かけてラウンドすることで安全な医療体制の構築に努めた。またSMを中心に転倒転落・薬剤・中心静脈挿入・その他のワーキンググループを作り、それぞれに特化した集中的な安全推進活動を行った。

⑥ 個別対応の強化を目指した活動

個々の医療事故イベント防止を目指して、それぞれのイベントに特化した以下の研修会を行った。診療情報を確実に共有するための研修会を医療安全推進週間中に1回、転倒・転落予防のための講習会を3回、窒息予防講習会を3回、医薬品安全使用セミナーを2回開催した。その他、褥瘡、栄養管理、脳卒中などについて、それぞれの担当部署と共同したセミナーを開催した。また、安全な中心静脈カテーテル挿入を目指して認定制度に向けた取り組みを行い、認定者の養成に努めた。

⑦ 他病院との連携強化に向けた取り組み

慈恵医大附属4病院間では定期的な4病院セーフティマネジメント会議を開催し、問題点の共有を図るとともに、相互ラウンドによる相互チェックを行った。慈恵医大附属4病院以外では、都内の私大病院間の連携強化を目的とした都内私大病院安全連絡会議（COMPASS）を、また、全国私大病院間の連携強化を目的に藤田保健衛生大学七栗記念病院・東海大学医学部付属病院との相互ラウンドを行った。

⑧ 特定機能病院承認要件見直しの対応

医療法施行規則の一部改正により特定機能病院承認要件の見直しが行われたため、関連部署と協力し、未承認新規医薬品等審査委員会、高難度新規医療技術審査委員会、医療安全監査委員会などを設置し新規承認要件を満たすための対応を行った。

(9) 感染対策

① 多剤耐性菌対策の強化

昨年度MBLアウトブレイクが発生しており、病棟ICT活動を中心とした標準予防策実施の強化、抗菌薬適正使用の推進、環境整備の強化について取り組みを行った。

- ・手指衛生指数：24.95（前年度比10.88%増）
- ・MBL検出数：16件（前年度比7件減）

- ・ MRSA 院内（不明含む）獲得率：0.22（前年度比37.5%増）
  - ・ MRSA 菌血症：2 件（前年度比 7 件減）
  - ・ 抗菌薬 AUD:
    - ・ UVC（環境紫外線照射器）を活用した環境整備の強化
    - ・ 全病棟看護室手洗い場の手洗いシンクの変更
  - ② 新興感染症、インフルエンザ、麻疹など持ち込み感染症対策の強化
    - ・ インフルエンザに伴う病棟閉鎖日数：0 日（前年度比 9 日減）
    - ・ 患者予防投与人数：184 名（前年度比 272 名減）
  - ③ 現場主体的感染対策を推進し強固な感染対策システムを構築する
    - ・ 感染対策講習会開催回数：98 回、のべ受講者人数：7,548 人
    - ・ 全病棟における病棟 ICT カンファレンス 2 回／年継続実施
    - ・ 小児 ICT 活動の活性化
      - 小児病棟血培 2 セット率：57.5%（前年度比 26%増）
      - 小児科 DOT：25.16（前年度比 6.86 減）
  - ④ 学術活動を強化し我が国の感染対策をリードする
    - ・ 私立医科大学感染対策協議会事務局・推進会議事務局として総会、運営委員会、各専門職部会等の運営について中心となり活動を行った。
    - ・ 感染防止対策加算病院との連携、支援
      - 感染防止対策加算Ⅱ病院と年 4 回のカンファレンスを開催するとともに、感染防止対策加算Ⅰ病院（東京済生会中央病院、東急病院）と相互ラウンドを実施した。
    - ・ 院外において感染対策担当者を対象とした TeamSTEPPS ワークショップの開催
- (10) 患者支援・医療連携センター
- ① 診療のご案内 2017 を発行した。 (平成 29 年 7 月)
  - ② 患者支援・医療連携センターだより「つなぐ つながる」を発行した。
    - ・ No.14（平成 29 年 7 月）、No.15（平成 30 年 1 月）
  - ③ 区中央部糖尿病医療連携検討会の事務局を患者支援・医療連携センターが担当した。
    - ・ 総会、作業部会（2 回）、市民公開講座、医療従事者対象研修会（平成 30 年 2 月 3 日）を開催した。
    - 市民向け広報紙を発行した。 (平成 29 年 6 月～平成 30 年 2 月)
  - ④ 「働く人の健康支援研究会」を開催した。
    - ・ 第 7 回：平成 29 年 9 月、参加者 306 人、働く人の血圧と就労管理
    - ・ 第 8 回：平成 30 年 2 月、参加者 231 人、忍び寄る感染症の危険
  - ⑤ 教職員向け医療連携フォーラムを開催し、教職員紹介に一定の成果を得た。
    - ・ 第 4 回：平成 29 年 5 月、産婦人科、参加者 75 人
    - ・ 第 5 回：平成 29 年 7 月、整形外科、参加者 60 人
    - ・ 第 6 回：平成 29 年 9 月、乳腺・内分泌外科、参加者 70 人
    - ・ 第 7 回：平成 29 年 11 月、精神神経科、参加者 76 人
    - ・ 第 8 回：平成 30 年 1 月、循環器内科、参加者 48 人
  - ⑥ 平成 29 年度地域包括ケアフォーラムを開催した。
    - 平成 29 年 7 月 15 日（土）、参加者 70 人
  - ⑦ 地域包括ケア研修会を開催した。（港区、港区医師会との共催）
    - ・ 平成 29 年度第 1 回：平成 29 年 10 月 20 日、嚥下障害へのアプローチ、参加者 92 人
    - ・ 平成 29 年度第 3 回：平成 30 年 2 月 9 日、認知症ケア、参加者 117 人
  - ⑧ 子ども虐待対応チーム（CAPS）主催研修会を開催した。
    - ・ 「院内における虐待対応の実際について」 (平成 30 年 1 月、参加者 28 人)
- (11) 治験センター
- ① 治験の実施：前年度からの継続 56 件、新規承認 24 件（前年比－5 件）、終了 23 件（＋3 件）

であった。うち、医師主導治験は1件であった。

② 臨床試験への実施支援：3件

臨床試験におけるCRC(Clinical Research Coordinator:臨床研究コーディネーター)の支援内容は、治験と同じく被験者対応、スケジュール管理や、データ収集と文書管理等であった。

③ 臨床研究支援センターおよび倫理委員会事務局との連携

倫理委員会事務局業務等の支援を目的に、CRCおよび治験事務局スタッフが臨床研究支援センターと連携して、倫理委員会事務局業務に協力。治験および臨床試験の現状や両センターの役割拡大、協働について常に情報交換し支援体制を構築した。

④ 臨床試験に対するモニタリング実施体制の構築

臨床試験の実施支援とは別に、CRCがモニタリング担当者としてその業務を行うとともに、各試験のモニタリング担当者に対し、モニタリング計画の相談や指導、実施確認等を行い支援した。

・モニタリングの実施、支援：6試験

・モニタリング計画の相談、確認業務等：16試験

(12) 地域がん診療連携拠点病院（腫瘍センター事務局）

腫瘍センター事務局として地域がん診療連携拠点病院の指定要件整備と機能強化を推進した。「生活のしやすさに関する質問票」を用いた苦痛のスクリーニング実施、緩和医療の提供を行っている他施設との連携を強化し、内外部の対象患者への対応について更なる改善が施された。その他、院内がん登録3,591件、がん相談999件、がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会5回開催、市民公開講座2回開催、腫瘍センターサロン交流会（がん患者とその家族の語らいの場(含むミニ講座)）43回開催の実績を残した。5大がん+前立腺がんのクリティカルパスの運用実績は63件であった。

(13) 患者サービス

① 外来待ち時間調査を実施した。(平成29年11月16日)

② 外来患者満足度調査を実施した。(平成29年11月20日～25日)

③ 入院患者満足度調査を実施した。(平成29年11月6日～30日)

④ 入院患者向け移動水族館を実施した。(平成29年10月6日)

⑤ 患者向け広報誌「すこやかインフォメーション」第51号(平成29年4月)第52号(平成29年7月)第53号(平成29年10月)第54号(平成30年1月)を発刊した。

⑥ 平成29年度「みんなの健康教室」を以下の日程で開催した。

※NHK放送博物館と共催（患者支援医療連携センター担当）

・第1回 5月20日(土)(48名参加) ・第2回 7月8日(土)(52名参加)

・第3回 9月16日(土)(45名参加) ・第4回 11月11日(土)(56名参加)

・第5回 1月13日(土)(44名参加) ・第6回 3月10日(土)(43名参加)

⑦ 不在者投票の実施

・平成29年7月2日執行の東京都議員選挙に対して、平成29年6月29日(木)に実施し、71名に対応した。

・平成29年7月30日執行の横浜市長選挙に対して、平成29年7月27日(木)に実施し、1名に対応した。

・平成29年10月22日執行の衆議院議員選挙・最高裁判所裁判官国民審査に対して、平成29年10月19日(木)に実施し、127名に対応した。

・平成29年11月12日執行の葛飾区長・議員選挙に対して、平成29年11月10日(金)に実施し、2名に対応した。

(14) 診療体制の整備

① 平成30年1月1日付で鼻中隔外鼻センターを開設した。

② 平成30年3月1日付で遺伝診療部を開設した。

- ③ 病院救急車輛の運用は、小児科を中心とした患者搬送を13件（要請18件）行った。
- (15) 工事関係
- ① 外来棟1階14床減床、E棟2階一般床6床、GCU6床、4階一般床2床の合計14床増床 (平成29年8月22日)
- ② 新病院・新外来棟（仮称）、中央棟整備工事 (平成29年12月1日)
- ③ 中央棟2階一般撮影室装置更新 (平成29年12月8日)
- ④ 電子カルテシステムの導入 (平成30年1月1日)
- (16) 東京都赤十字血液センターによる献血が実施された。  
平成29年5月30日（火） 献血者95名（申込者数110名）  
平成29年11月27日（月）、11月28日（火） 献血者92名（申込者数112名）
- (17) 「東京慈恵会医科大学附属病院年報」の発刊  
平成28年度版を平成29年10月に発刊した。  
配布部数約1,000部。（配布先：学内各部署、名誉教授、客員教授、学術連絡員、同窓会支部長、本学協力病院・関連病院、連携病院、全国医学部附属病院等）
- (18) 臨床研修  
平成29年度初期臨床研修採用者は、医科40名（内訳：本学卒10名、他学卒30名）、歯科3名の計43名であった。医科40名については、同年7月より研修中断からの再開者1名（本学1名）を含む。
- (19) 研修会・講習会
- ① がんに携わる医師に対する緩和ケア研修会（年度5回）
- ・第15回緩和ケア研修会 平成29年5月13日（土）～14日（日） 於：大学後棟2階講堂  
修了者：医師27名（本学27名）
  - ・第16回緩和ケア研修会 平成29年5月20日（土）～21日（日） 於：大学前棟西講堂  
修了者：医師33名（本学33名）
  - ・第17回緩和ケア研修会 平成29年5月27日（土）～28日（日） 於：大学管理棟4階研修室  
修了者：医師35名（本学35名）
  - ・第18回緩和ケア研修会 平成29年12月2日（土）～3日（日） 於：大学1号館6階講堂  
修了者：医師19名（本学19名）
  - ・第19回緩和ケア研修会 平成30年3月17日（土）～18日（日） 於：大学1号館6階講堂  
修了者：医師17名（本学7名、他学10名）、コメディカル1名（他学1名）
- ② 慈恵ICLSコース、慈恵BLSコース
- ・慈恵ICLSコースを5回開催した。
- |                                |    |       |
|--------------------------------|----|-------|
| 日 時：平成29年5月20日（土）午後1時30分～午後6時  | 葛飾 | 参加24名 |
| 日 時：平成29年7月15日（土）午後1時30分～午後6時  | 本院 | 参加24名 |
| 日 時：平成29年9月2日（土）午後1時30分～午後6時   | 第三 | 参加24名 |
| 日 時：平成29年11月18日（土）午後1時30分～午後6時 | 柏  | 参加24名 |
| 日 時：平成30年2月17日（土）午後1時30分～午後6時  | 本院 | 参加24名 |
- ・ICLS指導者ワークショップ（インストラクター更新要件）を3回開催した。
- |                              |    |       |
|------------------------------|----|-------|
| 日 時：平成29年7月14日（金）午後6時～午後10時  | 本院 | 参加17名 |
| 日 時：平成29年7月15日（土）午前8時～午後0時   |    |       |
| 日 時：平成29年11月17日（金）午後6時～午後10時 | 柏  | 参加10名 |
| 日 時：平成29年11月18日（土）午前8時～午後0時  |    |       |
| 日 時：平成30年2月16日（金）午後6時～午後10時  | 本院 | 参加12名 |
| 日 時：平成30年2月17日（土）午前8時～午後0時   |    |       |

- ・慈恵BLSコースを年間4回開催した。
  - 日 時：平成29年6月10日（土）午後3時～午後5時 参加4名
  - 日 時：平成29年10月21日（土）午後3時～午後5時 参加5名
  - 日 時：平成29年12月9日（土）午後3時～午後5時 参加8名
  - 日 時：平成30年3月10日（土）午後3時～午後5時 参加11名
- ・PBLコース（小児心肺蘇生コース）を3回開催した。
  - 日 時：平成29年9月30日（土）午後1時～午後3時 参加14名
  - 日 時：平成29年10月21日（土）午後1時～午後3時 参加5名
  - 日 時：平成29年11月11日（土）午後1時～午後3時 参加13名
- ・JAMPコース（緊急気道管理コース）を4回開催した。
  - 日 時：平成29年5月13日（土）午後1時～午後7時 参加13名
  - 日 時：平成29年8月5日（土）午後1時～午後7時 参加18名
  - 日 時：平成29年10月10日（土）午後1時～午後7時 参加21名
  - 日 時：平成29年12月16日（土）午後1時～午後7時 参加8名
- ・心肺蘇生に関する家族参加型市民公開講座を6回開催した。
  - 日 時：平成29年4月8日（土）午後1時～午後3時 参加9名
  - 日 時：平成29年6月10日（土）午後1時～午後3時 参加8名
  - 日 時：平成29年8月5日（土）午後1時～午後3時 参加38名
  - 日 時：平成29年10月14日（土）午後1時～午後3時 参加22名
  - 日 時：平成29年12月9日（土）午後1時～午後3時 参加6名
  - 日 時：平成30年2月3日（土）午後1時～午後3時 参加3名

③ 鏡視下手術トレーニングコース

鏡視下手術を行う外科系医師の育成、認定を行う独自の制度である鏡視下手術トレーニングコース認定試験（STEP1計5回／受験者47名、STEP2計4回／受験者43名）及び技術判定審査（STEP3計2回／受験者33名 ※シルバー7名、ゴールド26名）を実施した。

④ 保険診療に関する講習会

- ・第1回 平成29年4月24日（月）「診療録の書き方講習会」 大学1号館講堂
- ・第2回 平成29年5月22日（月）「医科点数の解釈講習会」 大学1号館講堂
- ・第3回 平成29年9月11日（月）「外科系アドバンスコース講習会」 大学1号館講堂
- ・第4回 平成29年10月31日（火）「外科系アドバンスコース講習会」 大学1号館講堂
- ・第5回 平成29年11月29日（水）「内科系アドバンスコース講習会」 大学1号館講堂
- ・第6回 平成29年12月14日（木）「保険診療と審査機関」 大学1号館講堂
- ・第7回 平成29年12月18日（月）「査定の傾向と対策／診療録監査実施報告」 2号館講堂
- ・第8回 平成30年2月6日（火）「指導の立場から」 大学1号館講堂

(20) 慈恵医大晴海トリートメントクリニック（所長：加地正伸）

- ① 外来1日平均患者数82人（対前年比+2人）
- ② 健診1日平均健診者数26人（対前年比±0人）

(21) 港区立がん在宅緩和ケア支援センター「ういケアみなと」（施設長：岩田真）

港区が平成30年4月1日に開設する港区立がん在宅緩和ケア支援センターについて、平成29年11月1日に指定管理者の指定を受け、平成30年4月1日開設に向け準備を行った。